

2013年度前期 学生による授業アンケート結果

2013. 11.1

教育開発推進委員会

| | |
|---------------|---|
| 目次 | 【概要】 |
| 1. 全体の結果 | * 2013年度の授業評価アンケートは、専任教員2～4科目、非常勤講師1科目とし、先生方が選んだ科目で実施しました。 |
| 2. 科目分野別の結果 | * アンケート対象授業は、受講者数が専任教員は5名以上、非常勤講師は10名以上の授業です。 |
| 3. 授業形態別の結果 | * 評価は5段階評価です（1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う） |
| 4. 受講者数別の結果 | * 前期は7月8日～7月27日に実施しました（都合によりこの期間外に実施した科目もあります）。 |
| 5. 先生のアンケートから | |

1 全体の結果

分野（基礎科目や基幹科目など）、授業形態（講義系や演習系、実習など）、人数などが異なる授業全ての科目を集計した平均値です。

実施科目数 128科目

質問項目別に見る平均

【表1】

| 設 問 | 平均 |
|---|-------------|
| 学生自己評価について | 4.03 |
| 1.私は、私語・飲食・携帯電話の使用を慎み適切な態度で授業に出席した | 4.15 |
| 2.私は、この授業に対し意欲的に取り組んだ(熱心な授業態度、予習・復習をするなど) | 3.91 |
| 授業について | 4.14 |
| 3.授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた | 4.17 |
| 4.成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた | 4.14 |
| 5.授業時間はだいたいにおいて守られていた(開始時間・終了時間) | 4.34 |
| 6.教員の声や言葉は聞き取りやすかった | 4.20 |
| 7.授業で使用した教材(教科書・資料等)は授業内容の理解に役立った | 4.16 |
| 8.教員の板書やパワーポイント等は分かりやすかった | 3.89 |
| 9.この授業の進め方及び内容は適切であった | 4.09 |
| 10.課題の内容は学習に役立った | 4.07 |
| 11.教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた | 4.30 |
| 12.教員は学習に適した環境で受講できるよう努めていた(私語・居眠り・学生の出入り・携帯電話への注意など) | 4.03 |
| 13.学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた | 4.12 |
| 14.教員は学生の質問や発言に対し適切に対応した(授業外も含む) | 4.23 |
| 15.この授業がテーマとする分野への問題意識や関心が深まった | 4.11 |
| 16.この授業に満足し、後輩や友人に勧めたいと思う | 4.04 |
| 環境について | 4.32 |
| 17.教室の広さは適切であった | 4.34 |
| 18.机や椅子の配置は適切であった | 4.32 |
| 19.廊下や隣接する教室など、教室外からの騒音は特に気にならなかった | 4.31 |

2 科目分野別の結果

* 「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「情報」「外国語」等

実施科目

【表2-1】

| 科目分野 | 実施数 | 実施科目 |
|--------------|-----|---|
| 基礎科目:文献講読演習 | 10 | 文献講読演習 a/文献講読演習 a |
| 基礎科目:日本語科目 | 2 | 日本語表現法 |
| 基礎科目:英語科目 | 13 | Business Communication Skills/English Communication /English Seminar /Grammar//English Reading /English Reading /English Discussion(Topics)/ /英語語彙演習 /英語文化入門 |
| 基礎科目:情報文献 | 3 | 情報処理リテラシー |
| 基礎科目:スポーツ・健康 | 5 | 生涯スポーツ /生涯スポーツ /心と身体健康学 |
| 基礎科目:現代教養 | 10 | 福祉文化論/人文地理学/女性学入門/数学の基礎/心理学 /経済学/法学 |
| 基幹科目 | 75 | 地域文化研究(アジア文化論)/日本語の構造 /キリスト教文化史/日本文学研究(文学史)/地域文化(日本)研究序説/日本語学概論/比較教育/就労支援サービス/相談援助の理論と方法 /高齢者に対する支援と介護保険制度 /老人ソーシャルワーク論/バリアフリー・デザイン/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 /介護の基本 /認知症の理解 /ターミナルケア論/社会福祉/コミュニケーション研究 /英語情報データベース/地域文化研究(英米文化研究特講)/英米文学入門 /児童相談の理論と方法/社会的養護/国際経済論/障害者の理解 /地域文化研究特論/比較文化研究長崎の美術工芸/地域文化特講(長崎と近代化)/自然地理学 /福祉人権論/障害ソーシャルワーク論/児童文化研究/ジェンダー論/国語概論/基礎音楽/経営と心理/地域福祉の理論と方法 /保健医療サービス/保育原理/教育指導の研究/音楽科教育法/教育の基礎理論/理科教育法/家政学概論/保育者論/臨床心理学/心理学入門 /教育心理学 /生涯発達心理学 /カウンセリング論 /人間心理学 /産業・組織心理学/カウンセリング論 /児童臨床心理学/障害者心理 /日本の宗教/相談援助演習 /障害児保育/英文購読 /子どもの音楽 /発達と学習の心理学 /子どもと環境 /障害児の心理と教育/基礎造形/造形表現法/幼稚園教育実習指導 /音楽表現法//子どもの造形 /器楽 |
| 資格・免許に関する科目 | 10 | 日本史/社会科教育法/情報メディアの活用/教育指導の研究 /図書館経営論/学習指導と学校図書館/図書館概論/教育原理/保育内容総論 |

質問項目別に見る平均

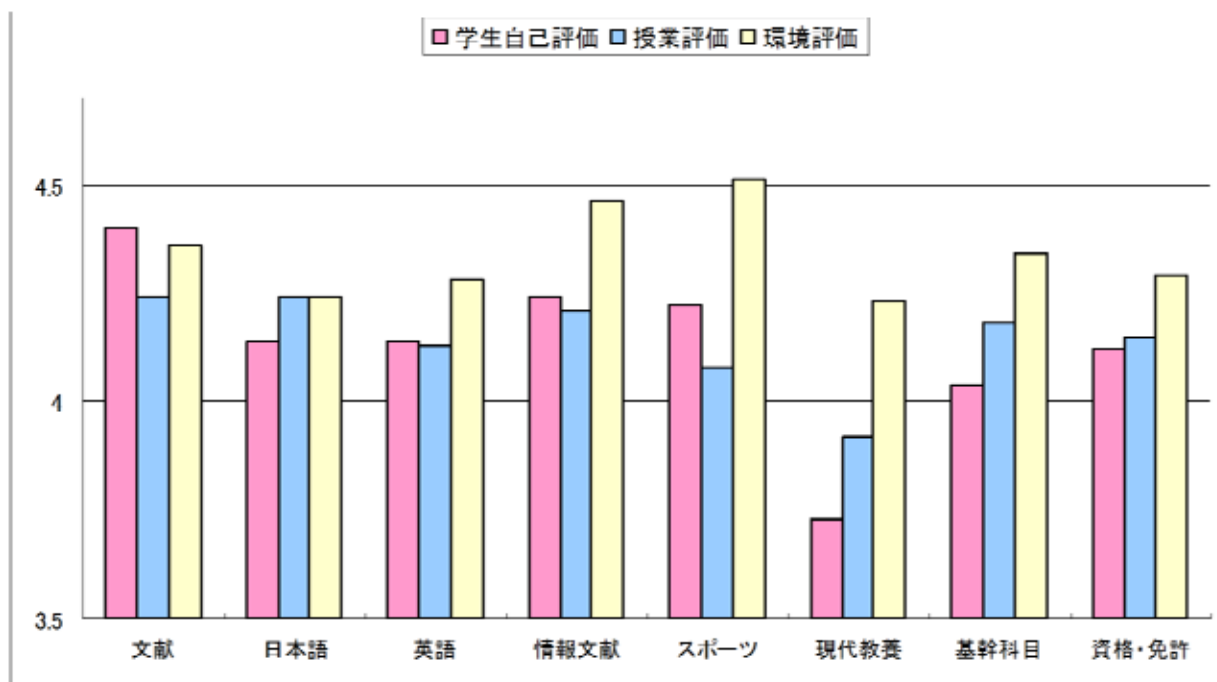
【表2-2】

| 設問内容 | | 基礎科目 | | | | | | 基幹科目 | 資格免許 |
|----------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | 文献 | 日本語 | 英語 | 情報文献 | スポーツ | 現代教養 | | |
| 学生自己評価 | 平均 | 4.40 | 4.14 | 4.14 | 4.24 | 4.22 | 3.73 | 4.04 | 4.12 |
| 1.適切な態度 | | 4.56 | 4.27 | 4.31 | 4.38 | 4.30 | 3.88 | 4.15 | 4.23 |
| 2.意欲的な取り組み | | 4.24 | 4.00 | 3.96 | 4.11 | 4.14 | 3.59 | 3.93 | 4.01 |
| 授業への評価 | 平均 | 4.24 | 4.24 | 4.13 | 4.21 | 4.08 | 3.92 | 4.18 | 4.15 |
| 3.シラバスの授業への反映 | | 4.25 | 4.32 | 4.07 | 4.17 | 4.25 | 3.93 | 4.22 | 4.26 |
| 4.成績評価基準の明示 | | 4.27 | 4.49 | 4.11 | 4.14 | 4.00 | 3.99 | 4.17 | 4.24 |
| 5.授業時間を守る | | 4.26 | 4.43 | 4.47 | 4.49 | 4.24 | 4.21 | 4.34 | 4.60 |
| 6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ | | 4.38 | 4.39 | 4.14 | 4.00 | 4.09 | 4.07 | 4.26 | 4.08 |
| 7.教材が理解に役立った | | 4.27 | 4.39 | 4.14 | 4.23 | 3.93 | 3.89 | 4.22 | 4.26 |
| 8.板書やパワーポイントの分かりやすさ | | 3.98 | 4.13 | 3.88 | 4.11 | 3.48 | 3.67 | 3.95 | 3.85 |
| 9.進め方と内容の適切さ | | 4.20 | 4.28 | 4.04 | 4.12 | 4.09 | 3.87 | 4.14 | 4.01 |
| 10.課題の内容は学習に役立った | | 4.25 | 4.36 | 4.03 | 4.33 | 4.13 | 3.74 | 4.13 | 4.08 |
| 11.教員の熱意が感じられた | | 4.35 | 4.14 | 4.41 | 4.20 | 4.29 | 4.09 | 4.35 | 4.31 |
| 12.適切な学習環境の保持 | | 4.25 | 4.18 | 4.27 | 4.22 | 4.03 | 3.79 | 4.08 | 3.82 |
| 13.学生の努力の公正な評価 | | 4.34 | 4.20 | 4.19 | 4.25 | 4.14 | 3.92 | 4.15 | 4.06 |
| 14.学生の質問や発言への適切な対応 | | 4.42 | 4.22 | 4.25 | 4.46 | 4.18 | 4.07 | 4.25 | 4.23 |
| 15.問題意識・関心が深まり | | 4.15 | 3.90 | 3.91 | 4.13 | 4.11 | 3.86 | 4.18 | 4.21 |
| 16.後輩や友人に勧めたい | | 4.00 | 3.95 | 3.91 | 4.11 | 4.15 | 3.80 | 4.11 | 4.04 |
| 環境への評価 | 平均 | 4.36 | 4.24 | 4.28 | 4.46 | 4.51 | 4.23 | 4.34 | 4.29 |
| 17.教室の広さの適切さ | | 4.43 | 4.42 | 4.32 | 4.43 | 4.56 | 4.23 | 4.36 | 4.26 |
| 18.机・椅子の配置の適切さ | | 4.37 | 4.38 | 4.30 | 4.46 | 4.42 | 4.21 | 4.34 | 4.28 |
| 19.教室外からの騒音は気にならなかった | | 4.29 | 3.92 | 4.24 | 4.49 | 4.55 | 4.26 | 4.32 | 4.32 |

設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

各分野の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ1】



「文献」と「情報文献」「スポーツ」は学生の自己評価が特に高いことが伺えます。

3 授業形態別の結果

* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものです。

* 授業形態は担当教員の届出によります。

実施科目

【表3-1】

| 授業形態 | 実施数 | 実施科目 |
|------|-----|--|
| 講義系 | 80 | 地域文化論(アジア文化論)/日本語の構造 /キリスト教分化史/日本文学研究(文学史)/地域文化(日本)研究序説/日本語学概論/比較教育/就労支援サービス/相談援助の理論と方法 /高齢者に対する支援と介護保険制度 /老人ソーシャルワーク論/バリア・フリー・デザイン/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 /介護の基本 /認知証の理解 /ターミナルケア論/社会福祉/コミュニケーション研究 /英語情報データベース/地域文化研究(英米文化研究特講)/英米文学入門 /児童相談の理論と方法/社会的養護/国際経済論/障害の理解 /地域文化研究特講/比較文化研究長崎の美術工芸/地域研究特講(長崎の近代化)自然地理学 /福祉人権論/障害ソーシャルワーク論/児童文化研究/ジェンダー論/国語概論/基礎音楽/経営と心理/地域福祉の理論と方法 /保健医療サービス/保育原理/教育指導の研究/音楽教育法/教育の基礎理論/理科教育法/家政学概論/保育者論/臨床心理学/心理学入門 /教育心理学 /生涯発達心理学 /カウンセリング論 /人間心理学 /産業・組織心理学/カウンセリング論 /児童臨床心理学/障害者心理 /日本史/社会科教育法/情報メディアの活用/教育指導の研究 /図書館経営論/学習指導と学校図書館/図書館概論/教育原理/日本語表現法 /英語文化入門/英語語彙演習 /Business Communication Skills/韓国語 /情報処理リテラシー/心と身体/健康学/社会学 /福祉文化論/法学/人文地理学/心理学 /女性学入門/数学の基礎/経済学/心理学 |
| 演習系 | 36 | 日本の宗教/相談援助演習 /障害児保育/英文購読 /子どもの音楽 /発達と学習の心理学 /子どもと環境 /障害児心理と教育/基礎造形/造形表現法/幼稚園教育実集指導 /保育内容総論/文献購読演習 a/文献購読演習 a/English communication /English Seminar/Grammar/English Reading /English Reading /情報処理リテラシー/数学の基礎 |
| 実技系 | 8 | English Discussion (Topics) /English Communication /音楽表現法/基礎音楽/生涯スポーツ /生涯スポーツ |

質問項目別に見る平均

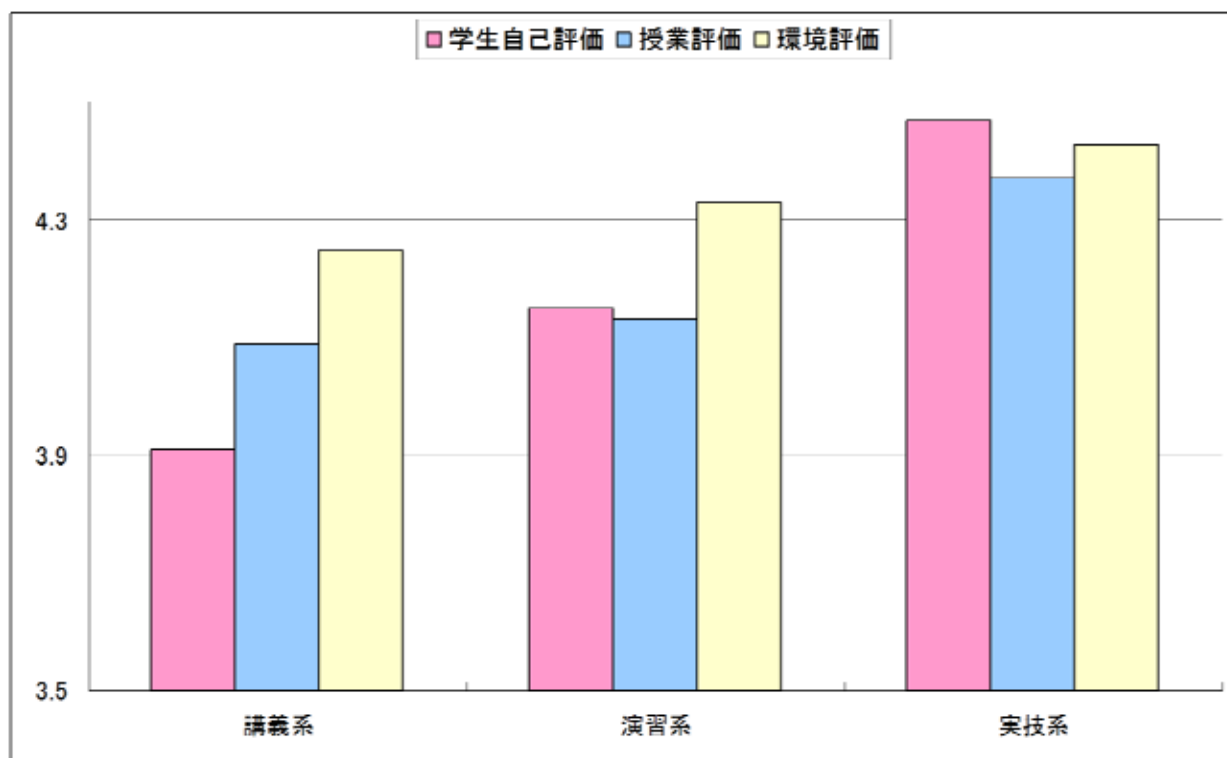
【表3-2】

| 設問内容 | | 講義系 | 演習系 | 実技系 |
|-----------------------|--|-------------|-------------|-------------|
| 学生自己評価 | | 3.94 | 4.23 | 4.51 |
| 平均 | | | | |
| 1. 適切な態度 | | 4.06 | 4.36 | 4.58 |
| 2. 意欲的な取り組み | | 3.81 | 4.10 | 4.43 |
| 授業への評価 | | 4.11 | 4.16 | 4.44 |
| 平均 | | | | |
| 3. シラバスの授業への反映 | | 4.15 | 4.14 | 4.44 |
| 4. 成績評価基準の明示 | | 4.13 | 4.34 | 4.30 |
| 5. 授業時間を守る | | 4.34 | 4.22 | 4.41 |
| 6. 教員の声や言葉の聞き取りやすさ | | 4.18 | 4.62 | 4.62 |
| 7. 教材が理解に役立った | | 4.14 | 4.20 | 4.34 |
| 8. 板書やパワーポイントの分かりやすさ | | 3.86 | 3.90 | 4.22 |
| 9. 進め方と内容の適切さ | | 4.06 | 4.04 | 4.45 |
| 10. 課題の内容は学習に役立った | | 4.03 | 4.16 | 4.37 |
| 11. 教員の熱意が感じられた | | 4.25 | 4.39 | 4.65 |
| 12. 適切な学習環境の保持 | | 3.97 | 4.12 | 4.54 |
| 13. 学生の努力の公正な評価 | | 4.08 | 4.16 | 4.46 |
| 14. 学生の質問や発言への適切な対応 | | 4.19 | 4.28 | 4.51 |
| 15. 問題意識・関心が深まり | | 4.08 | 4.10 | 4.38 |
| 16. 後輩や友人に勧めたい | | 4.01 | 4.04 | 4.45 |
| 環境への評価 | | 4.31 | 4.31 | 4.51 |
| 平均 | | | | |
| 17. 教室の広さの適切さ | | 4.31 | 4.36 | 4.62 |
| 18. 机・椅子の配置の適切さ | | 4.31 | 4.31 | 4.47 |
| 19. 教室外からの騒音は気にならなかった | | 4.31 | 4.26 | 4.45 |

設問は略しています。正式な設問は「1 全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

各授業形態の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ3】



「実技系」は全ての評価領域において高い評価となっています。

4 受講者数別での結果

実施科目

【表4-1】

| 受講者数 | 実施数 | 実施科目 |
|-------------|-----|---|
| 20名以下 | 27 | 文献講読演習 a、a/Business Communication Skills/English Seminar /比較教育/バリアフリー・デザイン/介護の基本 /地域研究特講(長崎と近代化)/基礎音楽/経営と心理/音楽科教育法/理科教育法/相談援助演習 /英文購読 /基礎造形/造形表現法/幼稚園教育実習指導 /情報メディアの活用/学習指導と学校図書館 |
| 21名以上50名以下 | 67 | 日本語表現法/英語文化入門/英語語彙演習/English Communication English Reading / English Discussion (Topics)/韓国語 /情報処理リテラシー/生涯スポーツ /福祉文化論/心理学 /数学の基礎/地域文化研究(アジア文化論)日本語の構造 /キリスト教文化史/日本文学研究(文学史)/日本語学概論/老人ソーシャルワーク論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開 /認知症の理解 /英語情報データベース/地域文化研究(英米文化研究特講)英米文学入門 /社会的養護/国際関係論/障害の理解 /地域文化研究特論/比較文化研究長崎の美術工芸/自然地理学 /福祉人権論/障害ソーシャルワーク論/児童文化研究/ジェンダー論/教育指導の研究/日本の宗教/障害者保育/発達と学習の心理学 /子どもと環境 /障害児の心理と教育/音楽表現法/基礎音楽/器楽/社会科教育法/教育指導の研究 /図書館経営論/教育原理/保育内容総論 |
| 51名以上100名以下 | 25 | 人文地理学/心理学 /地域文化(日本)研究序説/就労支援サービス/相談援助の理論と方法 /高齢者に対する支援と介護保険制度 /ターミナルケア論/コミュニケーション研究 /児童相談の理論と方法/国語概論/地域福祉の理論と方法 /保健医療サービス/家政学概論/臨床心理学/心理学入門 /教育心理学 /カウンセリング論 /人間心理学 /産業・組織心理学/児童臨床心理学/障害者心理 /日本史/図書館概論/保育内容総論/ |
| 101名以上 | 11 | 心と身体健康学/社会学 /法学/女性学入門 /経済学/社会福祉/保育原理/教育の基礎理論 /生涯発達心理学 /子どもの音楽 /子どもの造形 |

質問項目別に見る平均

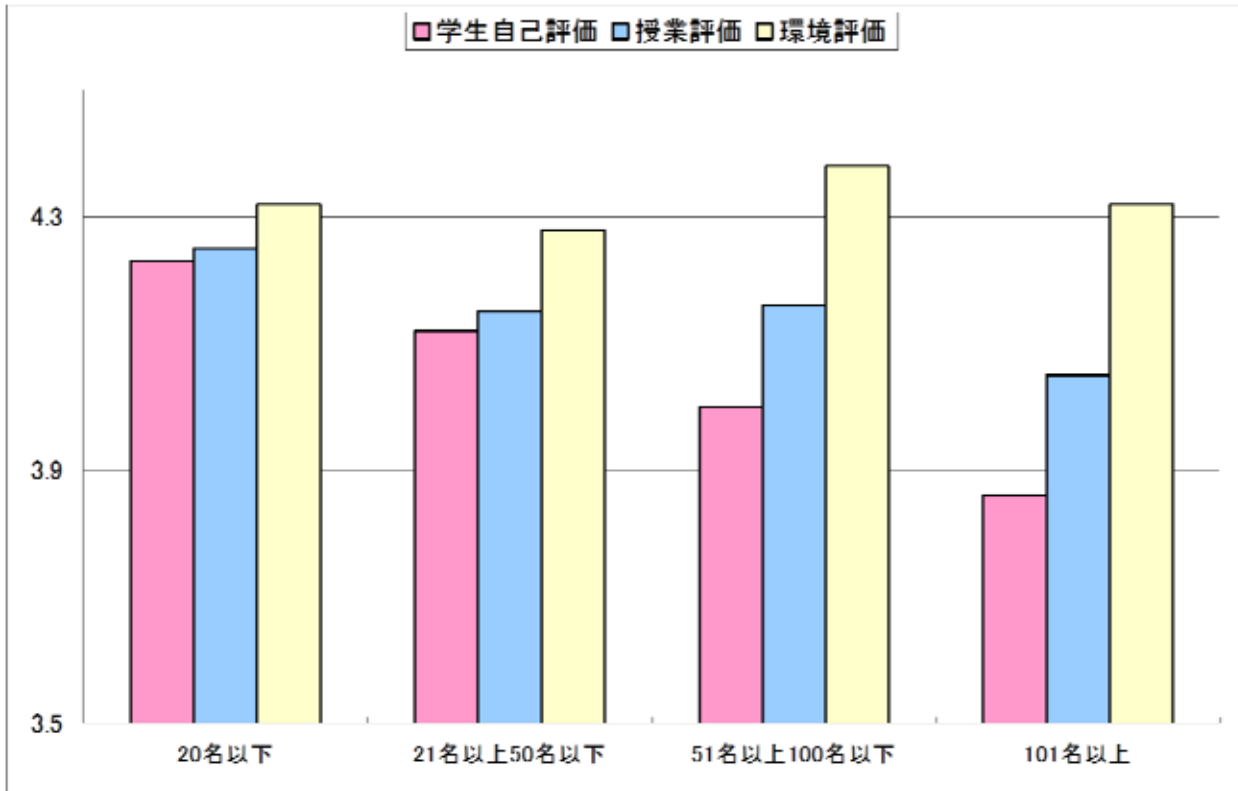
【表4-2】

| 設問内容 | | 20名以下 | 21名以上 50名以下 | 51名以上100名 以下 | 101名以上 |
|----------------------|-----------|-------------|----------------|-----------------|-------------|
| 学生自己評価 | 平均 | 4.23 | 4.12 | 4.00 | 3.86 |
| 1.適切な態度 | | 4.35 | 4.24 | 4.09 | 4.00 |
| 2.意欲的な取り組み | | 4.11 | 3.99 | 3.91 | 3.73 |
| 授業への評価 | 平均 | 4.25 | 4.15 | 4.16 | 4.05 |
| 3.シラバスの授業への反映 | | 4.22 | 4.17 | 4.20 | 4.13 |
| 4.成績評価基準の明示 | | 4.26 | 4.12 | 4.19 | 4.08 |
| 5.授業時間を守る | | 4.39 | 4.34 | 4.36 | 4.30 |
| 6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ | | 4.41 | 4.24 | 4.23 | 4.03 |
| 7.教材が理解に役立った | | 4.31 | 4.17 | 4.21 | 4.03 |
| 8.板書やパワーポイントの分かりやすさ | | 3.99 | 3.90 | 3.87 | 3.83 |
| 9.進め方と内容の適切さ | | 4.18 | 4.10 | 4.11 | 4.01 |
| 10.課題の内容は学習に役立った | | 4.21 | 4.07 | 4.12 | 3.95 |
| 11.教員の熱意が感じられた | | 4.44 | 4.36 | 4.30 | 4.17 |
| 12.適切な学習環境の保持 | | 4.26 | 4.09 | 3.99 | 3.93 |
| 13.学生の努力の公正な評価 | | 4.24 | 4.15 | 4.15 | 3.99 |
| 14.学生の質問や発言への適切な対応 | | 4.36 | 4.24 | 4.23 | 4.16 |
| 15.問題意識・関心が深まり | | 4.19 | 4.07 | 4.19 | 4.03 |
| 16.後輩や友人に勧めたい | | 4.07 | 4.03 | 4.10 | 3.99 |
| 環境への評価 | 平均 | 4.32 | 4.28 | 4.38 | 4.32 |
| 17.教室の広さの適切さ | | 4.36 | 4.32 | 4.36 | 4.32 |
| 18.机・椅子の配置の適切さ | | 4.33 | 4.29 | 4.36 | 4.31 |
| 19.教室外からの騒音は気にならなかった | | 4.27 | 4.23 | 4.41 | 4.32 |

設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

受講者数別の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

[グラフ4]



学生の自己評価は受講者数が多い科目ほど低くなっています。
 少人数(20名以下)の履修生の科目では、全ての評価領域において高ようです。

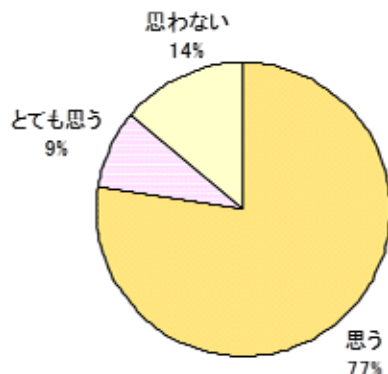
5 先生アンケートから

* 学生の皆さんにご協力いただいた授業アンケート結果を受けて、先生方へ授業改善に対するフィードバックアンケートを実施しました。回答者数及びアンケート結果は次のとおりです。

回答者数 専任教員 31名(回収率57%) 非常勤講師 30名(回収率73%)

アンケート結果

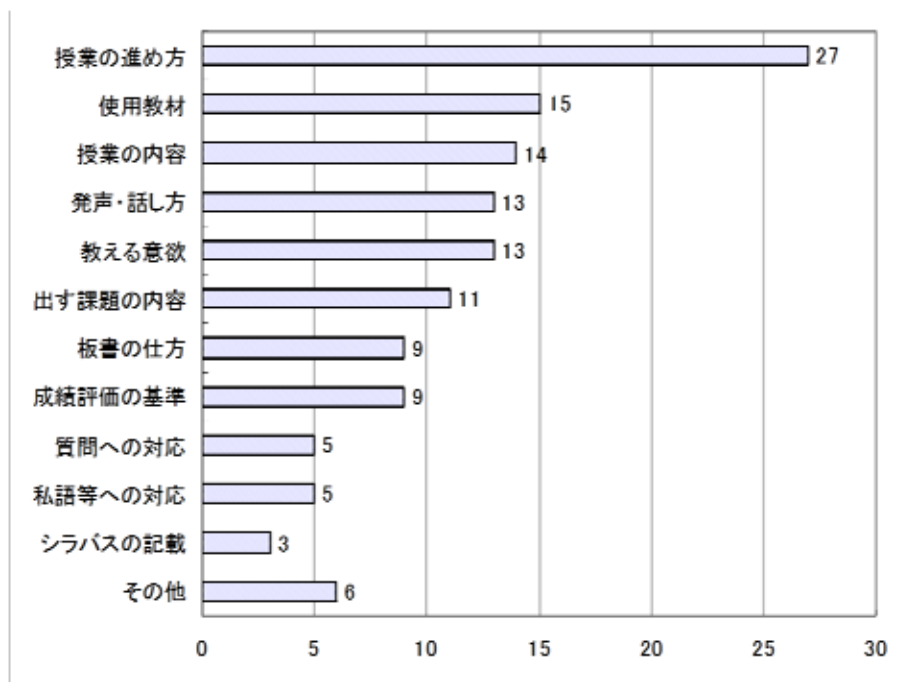
問1 授業アンケートが今後の授業改善につながると思うか？



| | 専任教員 | 非常勤講師 |
|--------|------|-------|
| とも思う | 13 | 3 |
| 思う | 21 | 17 |
| 思わない | 4 | 1 |
| 全く思わない | 0 | 0 |

問1で「とても思う」「思う」と回答した方対象

問2 具体的にどのような点を改善しようと思うか？(複数回答可)



その他の改善点として「廊下の騒音」「施設設備」の意見がありました。

問1で「思わない」「全く思わない」と回答した方対象

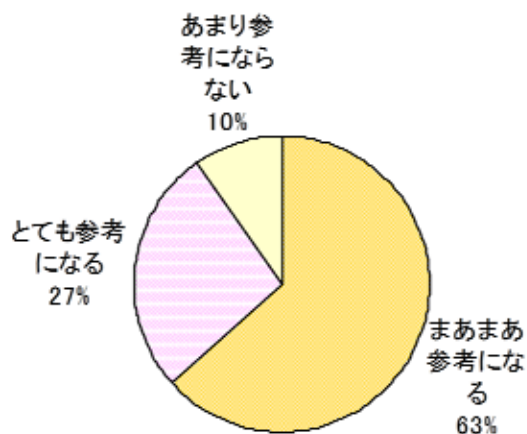
問3 授業アンケートが改善につながらないと思う理由は？(複数回答可)

自分の努力でどうにもならない事情がある。

学生のニードと文科省等が求める水準制度とズレがあると思う。

学生が真剣に取り組んでいるように思えない。

問4 自由記述アンケートは授業改善の参考になるか？



| | 専任教員 | 非常勤講師 |
|------------|------|-------|
| とても参考になる | 12 | 8 |
| まあまあ参考になる | 15 | 12 |
| あまり参考にならない | 4 | 0 |
| 全く参考にならない | 1 | 0 |

無回答 9名

ほとんどの先生が『参考になる』と回答しています。特にどのような点が参考になるのかという・・・。

「多様な学生の意見を聞くことができ、授業の進め方などについて示唆をうける」

「不満の背景を考える手がかりが得られる。」などの意見がありました。

『参考にならない』と回答した先生の意見からは、「改善につながるようなことが書かれていなかった」「授業終了後で記入をする時間がないのでは・・・。」などの理由があげられていました。